男女共同参画コラム（男女共同参画推進ネットワーク）

だれもがいきいきと輝けるまちを目指して
共に生きるために

昨年の3・11以後、特にこの最近は災害が目立って多く、それらへの対策も間に合わないほど被害が深刻な問題になっています。このようないつ起こるかわからない災害には「子育て」についても「介護」についても、男女が共に知恵を出し合い、それぞれの力が発揮できるような守谷市であってほしいと思います。

もし突然災害が起きたら、視覚に障がいがある私のような者にはどんな行動が取れるのだろうか？　人のためになることが果たしてできるのだろうか？と、ここ最近の出来事に関心をよせていました。絆を結ぶこと・深めることは、「減災」の一つです。人として、市民として、災害を受ける前にできるだけ心掛けておきたいものです。

○このコラムに関するご意見・ご感想は、左記までメールをお寄せください。

✉kyoudou@city.moriya.ibaraki.jp

募　集！！
夏休み高校生子育て体験教室ボランティア

子どもが大好きな高校生の皆さん。保育所で子どもたちと、一日一緒に過ごしませんか？

▶**期間**　8月1日㈬～31日㈮の希望日
※日曜日、8月13日㈪～16日㈭は除く

▶**対象**　市内在住・在学の高校生

▶**内容**　遊びの相手、食事・昼寝の介助

▶**申込方法**　応募用紙（保育所または児童福祉課で取得）に必要事項を記入し、7月12日㈭～25日㈬の期間内に希望する保育所へ直接申し込む

▶**場所・申込・問合先**
- 北園保育所　☎48-4897
- 土塔中央保育所　☎48-1876

国際交流員レイチェルさんの国際交流の力
MORIYA滞在記

守谷市の皆さん、こんにちは！「普段、ヨークさんのコラムですが、今度は知らないアメリカ人がなぜ…」と思っていませんか？安心してください。ヨークさんはドイツに帰国していませんし、私は後任者でもありません。じゃ、いったい誰？　実は、ヨークさんと同じように国際交流員を鹿児島県でしています。そして私は、守谷市の姉妹都市であるグリーリー市出身です。今年は、4年ぶりに青少年団員がグリーリー市に派遣されますので、お祝いのあいさつを兼ねて、守谷市とのご縁の話をぜひお伝えしたいと思います。

私は、2005年に守谷市とグリーリー市の姉妹都市交流のことを初めて知りました。17歳での初来日をドキドキと楽しみにしていました。1週間、日本の日常生活を体験でき、おいしい手作り日本料理をいただき、ホストファミリーのお母さんとお互いに頑張りながら英語と日本語でコミュニケーションを取りました。初来日ということで言葉はあまり通じなかったし、文化もよく理解していませんでしたが、守谷市の皆さんはとても親切にしてくれました。

アメリカに帰っても、守谷市との交流に参加したかったので、2006年と2008年にホストファミリーとして青少年団員を受け入れました。その際に一緒に守谷市の話ができたので、見慣れない風景の中でもちょっとアットホームな感じになったのではないかと思います。私が守谷市で貴重な時間を過ごしたのと同じように、青少年団員にはグリーリー市で楽しい思い出をいっぱい作ってほしいです。

私は、一昨年、大学を卒業してからすぐJETプログラムに応募しました。そして、去年の研修会で偶然にヨークさんに会いました。その縁で「広報もりや」に記事を載せることになりました。

毎度、国際交流によって作られた人間関係の力に驚いています。この国際交流の力を生かして、外国を身近に感じて、自分の故郷を新しい目で愛することもできます。さらに、広い世界のことを理解し国際感覚を身に付けるのです。

外国に行くには不安もあろうと思いますが、今月末グリーリー市に旅立つ青少年団員を本当に尊敬しています。私は鹿児島から応援しています。皆さんキバイヤンセ！　あ、最後となりますが、この場をお貸しいただき誠にありがとうございました。いつかまた守谷市に行けることを心から楽しみにしています。

○レイチェルさん体験記の全文は市ホームページで閲覧できます。

HP http://www.city.moriya.ibaraki.jp/section/0260/kokusai/cir/kouhou.html